

副産物情勢

4月11日 更新

J A 全農ミートフーズ株式会社

項 目			内 容	備 考																								
内 臓	1.国産牛	○ 2月の成牛と畜頭数は、82.9千頭と前年を上回った(前年比106.9%)。 内訳を見ると、和牛:36.1千頭(前年比107.5%)、交雑牛:19.6千頭(同110.5%)、乳牛去勢:10.7千頭(同93.4%)となった。 ○ 3月の成牛と畜頭数は、速報値(3月31日まで集計)で90.7千頭と前年を上回った(前年比100.4%)。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測(3月29日公表)によると、3月の出荷頭数は、乳用種が減少するものの、和牛および交雑種で増加が見込まれることから、前年同月を上回ると予測する。4月は、全品種で出荷頭数の増加が見込まれることから、前年を上回ると予測する。 (3月94.0千頭(前年比103.5%)、4月97.8千頭(前年比105.2%)) そのため、3か月平均(2月～4月)でも、出荷頭数91.8千頭(前年比105.3%)、生産量29.4千ﾄﾝ(同106.1%)と前年を上回る予測となっている。 ○ 需 給 動 向 : と畜頭数が微増しているため供給量は安定しているが、輸入原料の品不足や価格高騰、外食業態の回復等により需要は旺盛で凍結回しが減少している。 ユーザーが需要期に向けて在庫確保することにより冷凍物の相場は上昇していくことが想定される。		1.東京市場内臓価格 単位:円/枝肉kg <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛内臓</th><th>豚内臓</th></tr><tr><td>令和3年4月 1日</td><td>35</td><td>7</td></tr><tr><td>令和3年4月 26日</td><td>25</td><td>5</td></tr><tr><td>令和3年10月 18日</td><td>35</td><td>7</td></tr><tr><td>令和4年2月7日</td><td>25</td><td>5</td></tr><tr><td>令和4年4月4日</td><td>35</td><td>7</td></tr><tr><td>令和4年8月8日</td><td>45</td><td>9</td></tr></table> ※乳牛も同様45円/kg *豚正貫物	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和3年4月 1日	35	7	令和3年4月 26日	25	5	令和3年10月 18日	35	7	令和4年2月7日	25	5	令和4年4月4日	35	7	令和4年8月8日	45	9			
	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																									
	令和3年4月 1日	35	7																									
令和3年4月 26日	25	5																										
令和3年10月 18日	35	7																										
令和4年2月7日	25	5																										
令和4年4月4日	35	7																										
令和4年8月8日	45	9																										
2.国産豚	○ 2月の全国豚と畜頭数は、1,312千頭と前年を下回った(前年比98.4%)。 地域別と畜頭数(数値は前年同月比);北海道106.4%、東北100.9%、関東96.9%、北陸甲信越101.9%、東海98.8%、近畿100.6%、中四国100.7%、九州・沖縄95.5% ○ 3月の全国と畜頭数は、1,487千頭(速報値3月31日まで集計、前年比99.0%)と前年を下回る見込みとなった。 なお、稼働日数は昨年同様で、1日当たりの平均と畜頭数は67,591頭(前年実績:68,246頭/日、前年差△655頭/日)となった。 ○ 肉豚生産出荷予測(農水省食肉鶏卵課;3月27日付け)によると、4月;1,366千頭(前年比99%)、5月;1,326千頭(同100%)、6月;1,312千頭(同98%)、7月;1,294千頭(同103%)、8月;1,288千頭(同98%)であり、今後5か月間の合計頭数は前年比約100%と前年並み。 ○ 需 給 動 向 : と畜頭数の減少やと畜場での人手不足の影響により供給量は減少しているが、豚内臓を使用した中食商品や外食メニューが増加していることにより、需要は拡大傾向にある。但し、原料不足や価格高騰によりユーザーが国産豚内臓を使用しづらくなっている。		2.大阪市場内臓価格 単位:円/枝肉kg <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛内臓</th><th>豚内臓</th></tr><tr><td>令和3年3月 11日</td><td>35</td><td>4</td></tr><tr><td>令和3年4月19日</td><td>25</td><td>3</td></tr><tr><td>令和3年10月 15日</td><td>35</td><td>4</td></tr><tr><td>令和4年2月1日</td><td>25</td><td>4</td></tr><tr><td>令和4年3月28日</td><td>35</td><td>4</td></tr><tr><td>令和4年8月1日</td><td>45</td><td>5</td></tr></table>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和3年3月 11日	35	4	令和3年4月19日	25	3	令和3年10月 15日	35	4	令和4年2月1日	25	4	令和4年3月28日	35	4	令和4年8月1日	45	5				
価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																										
令和3年3月 11日	35	4																										
令和3年4月19日	25	3																										
令和3年10月 15日	35	4																										
令和4年2月1日	25	4																										
令和4年3月28日	35	4																										
令和4年8月1日	45	5																										
3.輸入牛	○ 2月の輸入通関実績は、全体で38.0千ﾄﾝと前年を上回り(前年比100.6%、前月比95.2%)、内訳ではチルド;13.3千トン(前年比81.1%、前月比82.9%)、フローズン;24.7千ﾄﾝ(前年比115.5%、前月比103.5%)となった。輸入相手国別では、チルドは米国を除き減少した。 一方でフローズンは、米国からのショートプレートが伸長し大きく増加し、カナダも前年を上回ったが、その他の国からの輸入が減少した。 ○ (独)農畜産業振興機構の需給予測によると、チルドの輸入量は、国内需要の低下等から3月、4月ともに前年を下回ると見込んでいる。フローズンも同様の影響により、3～4月合計では下回る(3月は現地価格の高騰等から前年度の輸入量が減少していたため上回る)と見込んでいる。3か月平均でも、チルド・フローズンともに前年同期を下回ると見込んでいる。 令和5年3月 合計;35.1千ﾄﾝ(前年比103.5%)、チルド;15.3千ﾄﾝ(同90.7%)、フローズン;19.8千ﾄﾝ(同116.4%) 令和5年4月 合計;49.4千ﾄﾝ(前年比80.3%)、チルド;17.6千ﾄﾝ(同85.9%)、フローズン;31.8千ﾄﾝ(同77.6%) ○ 輸入牛内臓実績(令和5年2月): 牛腸(冷凍) ;939.3ﾄﾝ(前年比124.1%・前月比76.1%) 国別実績;米国614.5ﾄﾝ、メキシコ173.0ﾄﾝ、カナダ113.3ﾄﾝ、豪州38.5ﾄﾝ 牛レバー(冷凍); 75.7ﾄﾝ(前年比738.4%・前月比122.6%) 国別実績;米国55.8ﾄﾝ、豪州19.9ﾄﾝ		3.東京市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚 <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛原皮(和牛)</th><th>豚原皮</th></tr><tr><td>平成31年1月5日</td><td>1,000</td><td>30</td></tr><tr><td>令和元年7月22日</td><td>700</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年3月16日</td><td>500</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年6月15日</td><td>100</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年7月20日</td><td>100</td><td>2</td></tr><tr><td>令和2年9月28日</td><td>10</td><td>2</td></tr><tr><td>令和3年5月24日</td><td>10</td><td>10</td></tr></table>	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	平成31年1月5日	1,000	30	令和元年7月22日	700	10	令和2年3月16日	500	10	令和2年6月15日	100	10	令和2年7月20日	100	2	令和2年9月28日	10	2	令和3年5月24日	10	10	
価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																										
平成31年1月5日	1,000	30																										
令和元年7月22日	700	10																										
令和2年3月16日	500	10																										
令和2年6月15日	100	10																										
令和2年7月20日	100	2																										
令和2年9月28日	10	2																										
令和3年5月24日	10	10																										
原 皮	1.牛原皮	○ 輸 出 実 績 (令 和 5 年 2 月) : 36,873枚(前年比84.9%、前月比97.6%) 国別実績;タイ21,818枚(前年比98.8%)、韓国9,125枚(同84.0%)、ベトナム2,980枚(同30.2%)、フィリピン2,350枚(同なし)、インド600枚(同なし) 輸出平均価格(令和5年2月): 2,192円/枚(前年差△784円、前月差△167円) ○ 輸 入 実 績 (令 和 5 年 2 月) : ウェットブルー10,683枚※(前年比76.9%、前月比133.8%)、牛大判皮23,664枚(同71.3%、同51.8%) ※4.4㎡/枚で計算 輸入平均価格(令和5年2月): ウェットブルー7,980円/枚(前年差+393円、前月差+608円)、牛大判皮7,776円/枚(同△905円、同△22円) ○ 海 外 情 勢 : 欧米での金融不安や動物愛護の広まり等により皮革製品購買意識が高まっていないため、品質低級原皮の価格水準は依然として厳しいものとなっている。 ○ 国 内 情 勢 : 鞣し薬品の高騰や皮革製品需要の伸び悩み等により、キズ・穴あき等がある原皮は、タンナーでの在庫リスクが高いため敬遠されている。		4.大阪市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚 <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛原皮(和ヌキ)</th><th>豚原皮</th></tr><tr><td>令和元年7月16日</td><td>1,000</td><td>30</td></tr><tr><td>令和元年8月15日</td><td>1,000</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年3月16日</td><td>800</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年6月22日</td><td>300</td><td>10</td></tr><tr><td>令和2年7月27日</td><td>300</td><td>2</td></tr><tr><td>令和2年9月28日</td><td>10</td><td>2</td></tr><tr><td>令和3年6月1日</td><td>10</td><td>10</td></tr></table>	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮	令和元年7月16日	1,000	30	令和元年8月15日	1,000	10	令和2年3月16日	800	10	令和2年6月22日	300	10	令和2年7月27日	300	2	令和2年9月28日	10	2	令和3年6月1日	10	10
	価格改定年月日	牛原皮(和ヌキ)	豚原皮																									
令和元年7月16日	1,000	30																										
令和元年8月15日	1,000	10																										
令和2年3月16日	800	10																										
令和2年6月22日	300	10																										
令和2年7月27日	300	2																										
令和2年9月28日	10	2																										
令和3年6月1日	10	10																										
2.豚原皮	○ 輸 出 実 績 (令 和 5 年 2 月) : 1,108,130枚(前年比104.1%、前月比120.8%) 国別実績;タイ739,830枚(前年比91.2%)、カンボジア149,300枚(同102.1%)、ベトナム179,900枚(同288.3%)、韓国39,100枚(同224.7%) 輸出平均価格(令和5年2月): 340円/枚(前年同月差△149円、前月差△14円) ○ 海 外 情 勢 : 主要用途である靴のライニング(肌に接する裏地)需要は、革靴の消費低迷等により、依然として回復していない。 但し、中国でのASF発生や中国経済の回復期待等により、夏以降、輸出価格が若干上向いていく可能性がある。																											
レンダリング	1. 油脂等	○ 国産食用加工油脂向け価格(3月渡し): 牛脂175円/kg(前年差+20円、前月差±0円)、豚脂175円/kg(同+25円、同±0円) 牛脂はレトルトルゥ等の製品需要が減退して余剰感があるため、4月以降の相場が値下がりする可能性が高い。 豚脂は燃料用輸出需要やエキス需要等の他業界からの引き合いが旺盛なため継続して堅調な荷動きをしている。 ○ マレーシア産パーム油相場(2月): 159円/kg(前年差△71円、前月差+11円) 2月生産量は125万トン(前月比80.6%)、月末在庫は211万トン(同93.4%)となった。中国国内の大豆油安、パーム油安等が弱材料だが、多雨・洪水による減産期で需給の引き締め感が強く、当面、相場は底堅い展開が続く見込みである。 ○ 関 東 飼 料 用 油 脂 (3 月) : 144円/kg(前月差±0円) ○ 工 業 用 油 脂 (3 月) : 115円/kg(前月差+0円) ○ UCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格(3月): 143円～146円/kgあたり(前月差±0円)		5. 食用加工油脂価格 単位:円/kg <table><tr><th>価格改定年月日</th><th>牛脂</th><th>豚脂</th></tr><tr><td>令和3年10月1日</td><td>105</td><td>100</td></tr><tr><td>令和3年12月1日</td><td>115</td><td>110</td></tr><tr><td>令和4年1月1日</td><td>145</td><td>140</td></tr><tr><td>令和4年3月1日</td><td>155</td><td>150</td></tr><tr><td>令和4年4月1日</td><td>175</td><td>170</td></tr><tr><td>令和4年7月1日</td><td>195</td><td>190</td></tr><tr><td>令和5年1月1日</td><td>175</td><td>175</td></tr></table>	価格改定年月日	牛脂	豚脂	令和3年10月1日	105	100	令和3年12月1日	115	110	令和4年1月1日	145	140	令和4年3月1日	155	150	令和4年4月1日	175	170	令和4年7月1日	195	190	令和5年1月1日	175	175
価格改定年月日	牛脂	豚脂																										
令和3年10月1日	105	100																										
令和3年12月1日	115	110																										
令和4年1月1日	145	140																										
令和4年3月1日	155	150																										
令和4年4月1日	175	170																										
令和4年7月1日	195	190																										
令和5年1月1日	175	175																										